

許、八寸
尺

〔重修本草綱目啓蒙十〕菊○中

花ヲ賞スル菊ニハ、春夏秋冬ノ分チアリ、皆花開ク時ヲ以テ名ク、其冬。菊ハ即寒菊ナリ、漏蘆ノ條ニ、單葉寒菊ノ名アリ、秋後花サク、葉ニ酒ヲ澆ゲバ、霜ヲ蒙テ紅紫色ニ染テ美ナリ、唐山ニテ賞スル秋。菊ハ、今ノ中菊ニシテ、本邦ニテ賞スル大菊ニハアラズ、范成大劉蒙史正志等ノ菊譜、及ビ花史左編群芳譜秘傳花鏡ニ詳ニ載ス、和書ニテハ菊經ニ詳ナリ、又人家盆玩ニマングクト云アリ、一莖多枝ニシテ花甚繁密、傘ヲ開クガ如シ、是數次心ヲ摘去テ、多枝ナラシメテ花多キナリ、土州ニテ、アメガシタト云、讚州ニテカサギクト云、漢名滿天星群芳譜ト云、又千瓣黃色ニシテ、大サ三四分ナルヲ、コガ子メヌキト云、是集解頌ノ說ノ珠子菊ナリ、コレニモ紅白紫間色數種アリ、野。菊 アブラギク センボンギク イハヤギク 一名蕙花 抱朴子

山足路旁ニ多シ、原野ニハ稀ナリ、一科叢生ス、苗高サ三五尺、枝ヲ分ツコト最繁シ、故ニ千本ギクト呼ブ、葉ハ花岐多クシテ鋸齒密ナリ、莖葉淺綠色、斷レバソノ氣艾ノ如シ、秋晩花ヲ開クコト甚多シ、單瓣ニシテ大サ四五分、心大ニシテ瓣短ク、微シク香氣アリテ黃色ナリ、ソノ味苦シ、故ニ一名苦蕙ト云、世ニ此草ヲカモメイリトスルハ穩ナラズ、蠻書ノ圖ニ異ナリ、和名ニノギクト呼ブモノハ、救急本草ノ鷄兒腸ナリ、混淆スベカラズ、旋覆ラケルマニモ野菊ノ名アリ、

〔鹽尻三十九〕菊花四時ながら見る、三月菊とてもあそぶ、黄色なるは、春の季より夏に至り開く、夏。菊。數品あり、冬は寒ぎくありて、寒中にも見るべし、されど秋。菊。のめで度には似侍らず、詩歌に詠せしも、秋の花いとなつかし、

〔閑窓自語四〕大小菊語

正徳のはじめ、犬ぎくといへるものを作り出で、家ごとにうへもてあそぶ、花の大きき一尺にも